

2026 平和フェスタ挨拶文

こまえ平和フェスタ実行委員長 佐久間 均

皆さん、こんにちは。本日は土砂降りの雨の中、ご来場いただきまして誠に有難うございます。今年で21回目の開催になりますが、これも皆様のご支援とご協力の賜物であり、重ねて感謝いたします。

今回のテーマは「聴いて語ってつながる未来」ということで、平和を築くためには先ずお互いに意見や希望を聴いたり語ったり、要は対話やコミュニケーションを大事にすることが大前提です。



ただ、世界の情勢は日に日に緊張や不安が増していて、ウクライナやパレスチナ、最近ではイランでも一般市民の犠牲者が絶えません。また、中国や北朝鮮による威嚇などの影響を受けて、日本も戦争準備へと突き進んでいます。

こういう時だからこそお互いが尊重して歩み寄り、とことん話し合わなければいけないのです。自民党の総裁をされ河野談話で有名な河野洋平さんは、今年6月に亡くなりましたが、生前、政府はもっともっと対話による外交をすべきだと言われていました。抑止力という名目での軍備拡張や核兵器の保有などは、エスカレーして戦争モードになる一方であり、平和への道の真逆です。

今回のフェスタは若者にスポットを当て、高校生に平和について語り合ってもらおうと座談会を設けました。普段あまり見られない企画であり、どんな思いや希望が出て来るのかとても楽しみです。

同時に、選挙権のない若者の声だからこそ大事にしていかなければならないと思います。なぜなら平和な社会で、若者も子どももみんな平等に生きる権利は日本国憲法で保障されているからです。そして、平和のバトンを次世代に繋いでいくためにもこういった場をもっともっと設けて多くの若い人たちに参加してもらいましょう。

本日の舞台のプログラムとしては他にも中学生による憲法についての朗読劇や小学生が加わった合唱演奏もあります。

また、ロビーでの**展示部門**では、ちょうふピース部の平和活動や和光中学の平和学習の様子なども展示されていますので、是非ご覧になってください。

それでは、最後までごゆっくりお楽しみください。